

こんにちは。きゅうしょくカンガルー！（奈良の学校給食を考える会）です。
毎日「暑い」以外のことばが出ませんね。みなさまいかがお過ごしでしょうか。
私たちは、おいしい給食&ほんとうの食育をめざして活動していきます。

このメルマガは、私たちの活動や奈良県内の給食をめぐる状況をお知らせしたく、
今までの活動の中で連絡先を交換させていただいた方を中心にお送りしています。
メルマガ解除をご希望の方は、お手数ですが、
oishiikyusyoku@gmail.com まで解除希望の旨をお書き添えの上ご連絡ください。

■ ■ もくじ ■ ■

1 水野玲子さん講演会「プラスチックから溶け出す有害物質」参加報告

■ | ■ 水野玲子さん講演会「プラスチックから溶け出す有害物質」参加報告

7月9日にプラスチックの問題点についての講演会に参加しました。1950年代以降、これまでの70年間でプラスチックの生産は260倍になったそうです。それほどまでに私たちのくらしはプラスチックに依存し、しかも未だ増え続けています。そもそもプラスチックには、石油が枯渇したら作れなくなる、燃やすと二酸化炭素が発生し地球温暖化に悪影響を与える、自然に分解することなく蓄積され続けるといった課題がありました。さらに近年、不法投棄による海洋汚染、マイクロプラスチックの拡散、プラスチックから溶け出す有害物質による人体汚染などが問題視されるようになってきました。プラスチックの生産や使用を減らし、総量を削減していく必要がありますが、今回はそんなプラスチックの中でも、特に気をつけたいプラスチックについて、講演の中から抜粋して報告します。

ひとくちにプラスチックといっても、素材によっていろいろな種類があります。トレイやかき氷の容器、コンビニ弁当などに使われる「ポリスチレン」、哺乳瓶や学校給食の食器などに使われる「ポリカーボネート」、ペットボトルの素材である「ポリエチレンテレフタレート」など。その中でも最も避けたいのは、なんといっても「ポリ塩化ビニル」（塩ビ）です。

塩ビは、原料である塩ビモノマーの毒性が非常に強いことに加え、可塑剤フタル酸エステルや安定剤ビスフェノールAなど、毒性が懸念される添加物が大量に加えられています。フタル酸エステルやビスフェノールAは、内分泌攪乱物質（環境ホルモン）です。内分泌攪乱物質とは、ヒトのホルモンをかく乱し、がんの増

加、不妊、発達障害、自己免疫疾患など人体に悪影響を及ぼす人工化学物質です。塩ビは加工しやすい素材であることから、子どものおもちゃ、食品ラップ、壁紙や床材のクッションフロア、消しゴム、医療用チューブに至るまで、多くの用途に使われていますが、できるだけ避けたいものです。せめて子どもが使うものは塩ビではないものを選びましょう。

また、塩ビモノマーや、フタル酸エステルの原料アセトアルデヒドを合成するための触媒である水銀によって、水俣病が引き起こされたことも忘れてはなりません。

プラスチックからは、使用の過程で有害化学物質が溶けだします。ペットボトル入りのミネラルウォーターやコンビニ弁当、お惣菜容器、ヨーグルトやコーヒー用ミルクなど、プラスチック容器から食品への溶出・移行が多数確認されています。食品への移行は、高温、接触時間が長い、脂肪分の多い食品や酸性食品の場合に多くなるので、プラスチック容器のまま電子レンジで加熱したり、熱々の食材をプラスチック容器に入れたりするのは避けた方がよさそうです。さらに、使用にともなって放出される微細なプラスチックであるマイクロプラスチックは、すでに母乳、胎盤、血液、肺、精巣など人体のあらゆるところから検出されています。柔軟剤などに使われる香りのカプセルは花粉やPM2.5よりも小さなマイクロプラスチックで、危険なプラスチックモノマーを肺の奥まで吸い込み、体内に蓄積させてしまいます。

プラスチックは軽い、安い、水に強いなど利便性が大きくありますが、あまりにも広く、多く使われすぎています。まずは、食品ラップを塩ビ製のものからポリエチレン製のものに変えるなど、プラスチックの中でも特に危険なものを避けること。次に、紙やガラス、ステンレスなど可能なものはプラスチックではない素材に変えていくこと。今年末までに条約案の内容確定が予定されている「国際プラスチック条約」に、有害化学物質の問題を入れることを求める署名活動もはじまるそうです。できることから、取り組んでいきましょう。

●来月もお楽しみに♪●

メルマガ発信元 : きゅうしょくカンガルー! (奈良の学校給食を考える会)

E-mail : oishiikyusyoku@gmail.com

facebook : <https://www.facebook.com/oishiikyusyoku>

事務局 : 生活協同組合コープ自然派奈良内 (田原本町西竹田 33-1)
